



令和7年4月17日(木)、6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等をお知らせします。

1 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、「学力に関する調査」と「学習状況に関する調査」があり、「学力に関する調査」は、今年度、国語・算数・理科の3教科について調査(各45分間)が行われました。「知識・技能」を基盤に、考え方や判断力を深める「思考力・判断力・表現力」、そして問題解決能力を育成することを目指しています。また、子どもたちが自分の考えを論理的に説明し、課題を解決する能力を発展させることにも重点が置かれています。

一方、「学習状況に関する調査」は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査となっています。

なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面であることを申し添えます。

2 調査結果について

(1) 学力に関する調査結果について

国語は、全国平均を下回る結果でした。

本校児童の正答率が最も低かった問題は、3番の三の(1)「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。」問題でした。

この問題では、田中さんが【資料4】を読み、「人によって言葉の意味のとらえ方がちがうと、伝え合うときに困る」と考えており、田中さんが、【資料4】に書かれていることと【資料1】に「コミュニケーションの食い違いを放置しておくわけにもいきません。」と書かれていることを結び付けていると捉えることが求められます。

これまでに獲得した「知識や技能」を活用して、「論理的に考え、説明・表現する」ことに対して、課題があることが分かりました。

算数は、全国平均を上回る結果でした。

本校では、過去に算数の研究を推進してきたため、昨年度に引き続き、その成果が現れました。本校児童の正答率が最も低かった問題は、3番の(2)「分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。」問題でした。

この問題では、 $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、その数は $\frac{1}{12}$ に

なります。そのため、 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の 8 個分ということになります。

分数の意味とその表し方（単位分数の幾つ分）の理解について課題があることが分かりました。

理科は、全国平均を下回る結果でした。

本校児童の正答率が最も低かった問題は、2 の (1) 「身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる。」問題でした。

この問題では、電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識が必要です。

「磁石の性質」と「電気の通り道」では、鉄、アルミニウム、ガラス、木など、同じ対象物を用いて学習します。それぞれの内容で習得した知識を物ごとに整理し、まとめるなどして、物質の性質について理解を深めることに課題があることが分かりました。

(2) 学習状況に関する調査結果について

表の数値は％で、肯定的に回答した児童の割合（17・18・19・21 を除く）

・生活習慣

番号	質問事項	本校	全国
1	朝食を毎日食べていますか	89.2	93.7
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.6	81.9
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.4	91.0

・自尊感情等

番号	質問事項	本校	全国
5	自分には、よいところがあると思いますか	94.6	86.9
6	先生は、あなたのよいところを褒めてくれる	95.7	92.2
7	将来の夢や目標を持っていますか	80.5	83.1
8	人が困っているときは、進んで助けていますか	93.4	93.7
10	困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	51.1	70.6
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.9	96.4
12	学校に行くのは楽しいと思う	77.2	86.5
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	75.0	78.1
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	88.1	93.0

・学習習慣等

番号	質問事項	本校	全国
16	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	77.1	81.7
17	平日 1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (1 h 以上)	48.9	54.0
18	家で、1 日当たり PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか (1 h 以上)	10.8	19.6
19	休日 1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (1 h 以上)	52.2	47.1
21	学校以外で、1 日当たりどれくらいの時間読書しますか。(1 h 以上)	14.1	15.2

・ICT（5 年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器について）

番号	質問事項	本校	全国
28	週 3 回以上使用しましたか	80.5	71.7
29-4	ICT 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる	68.4	76.7
30-5	活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	77.1	77.6
30-6	活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	79.3	84.6

- ・ 主体的・対話的で深い学び（５年生までに受けた授業で）

番号	質問事項	本校	全国
31	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	53.2	68.6
32	課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	83.7	80.3
35	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	83.7	84.9
39	友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	89.1	91.9

「生活習慣」の項目では、全国平均と比較すると、特に朝食の摂取に課題があります。以前の学校だよりでも触れましたが、脳は朝からエネルギーを必要とします。朝食を抜くとエネルギー不足となり、授業への集中力に影響を及ぼしたり、体育の授業や休み時間の外遊びなどでは、体を動かす場面でエネルギー不足となり、熱中症のリスクも高まったりします。ご家庭でお子様が確実に朝食を摂取できるよう、ご配慮よろしくお願いいたします。また、睡眠の『毎日、同じくらいの時刻』の寝起きについてですが、一見規則正しいように見えますが、その時刻が遅くなり過ぎていないでしょうか。お子様の心身の成長に睡眠は欠かせません。睡眠時間の確保に向けた声掛けをお願いいたします。

「自尊感情等」の項目では、人として大切にしてもらいたい複数の項目において値が高かったことが、大変嬉しいです。お子様を真っ直ぐ育てていただいた、ご家庭での教育に感謝いたします。

しかし、『学校に行くのは楽しいと思う』や、『困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる』の項目で数値が低かったことは、大きな課題として捉えています。これらを真摯に受け止め、改善に向けて取り組んでまいります。

「学習習慣等」では、学校以外で平日１日１時間以上勉強をしている６年生が48.9%と半数以下でした。基礎基本の定着による学力向上や、中学校との円滑な接続に向けても、学校以外での学習時間の確保につきましても、ご配慮いただきますようお願いいたします。

「ICT」の項目では、授業等で多く使用はしているものの、その有効性については課題が見られます。場面に応じて、その使い方に工夫を凝らし、質の向上を図ってまいります。

「主体的・対話的で深い学び」の項目については、全国値との比較から、やや「主体的」ではあるけれども、「対話的で深い学び」にまでは、まだまだ至っていないというのが現状かと思えます。

この課題につきましては、本校の研究、「自ら進んで学びを積み重ねていく子どもの育成～「書きたい」「話したい」を実現する場づくり～」を推進する中で、日々授業改善を図り、引き続き、その解決に向けて取り組んでまいります。